記者発表資料

平成２４年度

青森河川国道事務所の補正予算概要

平成２５年２月２６日

国土交通省　東北地方整備局

青森河川国道事務所

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521

河川関係
技術副所長　小山（おやま）　幸男（ゆきお）　（内線　２０４）
工務第一課長　菅原（すがわら）　裕彦（ひろひこ）　（内線　３１１）

道路関係
技術副所長　樋口（ひぐち）　和則（かずのり）　（内線　２０５）
工務第二課長　木村（きむら）　恭一（きょういち）　（内線　４１１）

全般
計画課長　田中（たなか）　隆俊（たかとし）　（内線　２６１）

※発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【平成24年度青森河川国道事務所　補正予算　事業概要】

青森河川国道事務所では、平成２４年度の補正予算として、「防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」を重点として、国民の命と暮らしを守るために必要なインフラ再構築に取組み、河川・道路事業について、整備を進めます。

１）河川事業

事前防災・減災のための国土強靭化の推進、災害への対応体制の強化を図るべく、岩木川、馬淵川流域において〔堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策等〕、〔老朽化対策等〕を推進します。

２）道路事業

老朽化するインフラを適切に維持管理できるよう〔老朽化対策等〕を推進するとともに、幹線道路で雪害による通行止め等の交通障害を未然に防止するため〔防雪対策〕を実施し、災害に強い広域道路ネットワークを確保します。

平成２４年度補正予算　　約　７７億円

（内訳）

河川関係事業費　　約　３３億円

道路関係事業費　　約　４４億円（うちゼロ国約２４億円）

平成２４年度　補正予算　河川の主要事業

〔河川事業〕

【堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策等】

「平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検結果（平成24年9月）」において、堤防の浸透に対する安全性が低いとされた箇所や流下能力不足とされた箇所に対して緊急的に対策を実施します。

●岩木川（１８．２２億円）

〇柏地区（つがる市）において堤防浸透対策（断面拡大）を実施します。
〇鶴田左岸地区（鶴田町）において流下能力対策（築堤）を実施します。
〇弘前左・右岸地区（弘前市）において堤防浸透対策（ドレーンエ）を実施します。
〇浅瀬石川右岸地区（田舎館村）において堤防浸透対策（ドレーンエ）を実施します。

●馬淵川（３．１９億円）

〇長苗代地区（八戸市）において堤防浸透対策（ドレーンエ）を実施します。

【老朽化対策等の推進】

施設の老朽化の進行等により機能が低下した樋管、護岸、観測機器等の更新・補修等を実施します。

●岩木川（１０．３１億円）

●馬淵川（１．１０億円）

平成２４年度　補正予算　道路の主要事業

【道路事業】

●国道７号　青森７号電線共同溝（新城地区電線共同溝）

（０．７０億円）

〇国道７号新城地区電線共同溝は東北新幹線新青森駅開業によって、新たに青森県の観光の玄関口となった新青森駅に隣接しており、良好な景観の形成や観光振興、防災性向上の観点から、区画整理事業の進捗とあわせて効率的に電線共同溝の整備を図るものです。

●国道４号　青森４号　老朽化対策（３．２４億円）

〇老朽化するインフラを適切に維持管理できるよう、国道４号において道路構造物の緊急修繕等、老朽化対策を実施します。

●国道１０１号　青森１０１号　風水害・防雪対策（３．９１億円）

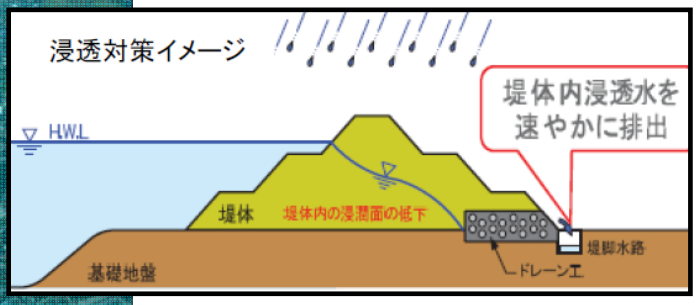
〇幹線道路で雪害による通行止め等の交通障害を未然に防止するため、国道１０１号において防雪対策を実施し、災害に強い広域道路ネットワークを確保します。

河川改修事業

平成24年の九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果
に基づく緊急対策を実施し、事前防災対策を推進します。

岩木川 弘前左岸地区緊急対策



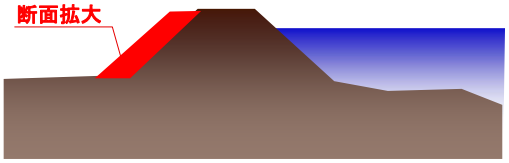


岩木川 柏地区緊急対策



≪浸透対策（浸透）イメージ≫

断面拡大工法により洪水時における堤防の安全性を向上させる



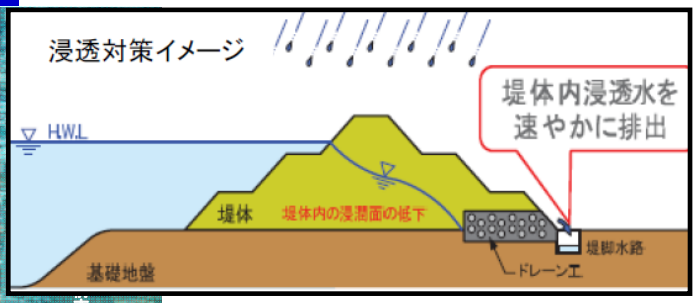
※1：想定浸水エリアは、河川整備基本方針で定めている年超過確率規模の降雨が発生し、洪水によって危険水位に達した時に決壊すると仮定した場合に浸水が想定される範囲を示す。

河川改修事業

平成24年の九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果
に基づく緊急対策を実施し、事前防災対策を推進します。

馬淵川　長苗代地区緊急対策







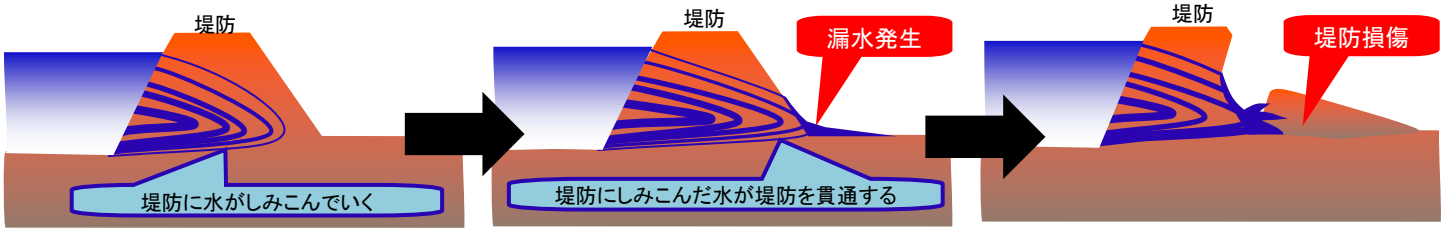
※1：想定浸水エリアは、河川整備基本方針で定めている年超過確率規模の降雨が発生し、洪水によって危険水位に達した時に決壊すると仮定した場合に浸水が想定される範囲を示す。

【参考】堤防への浸透水による影響とその対策

洪水になると、河川水が堤防に徐々にしみこんでいきます

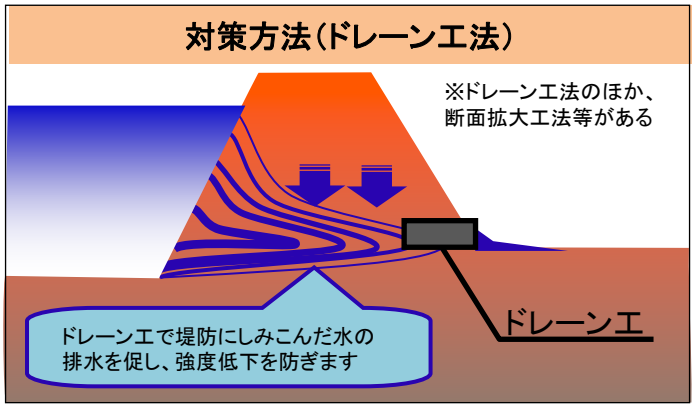
しみこんだ水は、やがて堤防を貫通し、漏水が発生します

水はどんどんしみこみ、強度が低下した堤防は損傷します。





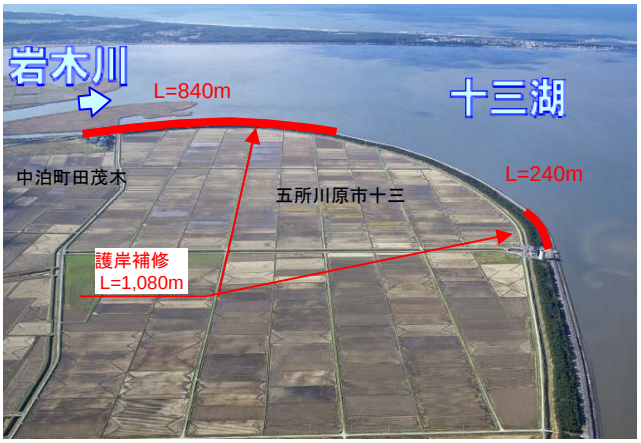
堤防損傷の例



河川維持修繕事業

施設の老朽化の進行等により機能が低下した護岸等の補修を実施します。

十三湖地区（右岸囲繞堤）

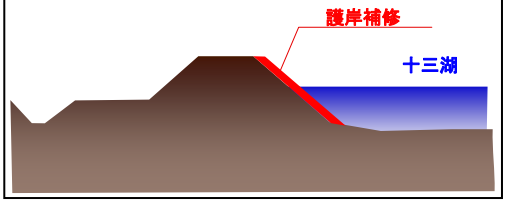


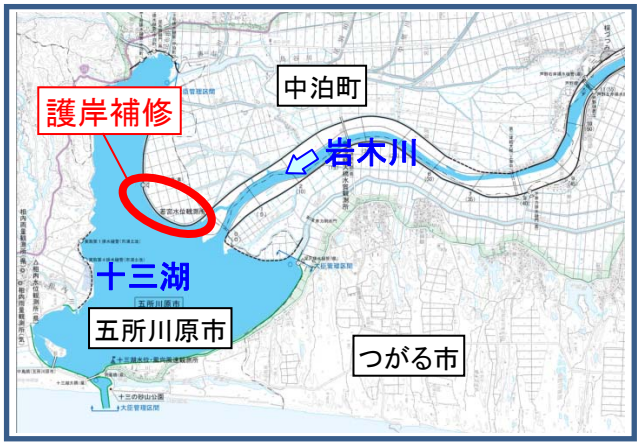


既設のアスファルト張工及び護岸に亀裂が発生し老朽化しており、土砂の吸い出し等による堤防崩落や破堤の可能性があるため、早急に老朽化対策等を実施します。

≪護岸補修のイメージ≫

老朽化により劣化した護岸について、補修を実施



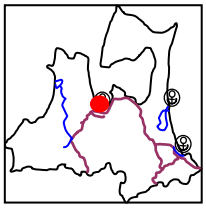


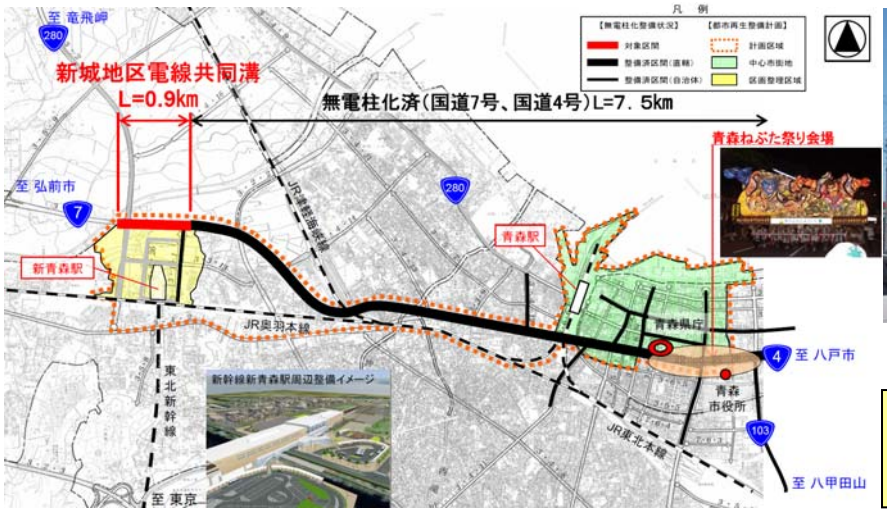
国道7号　青森7号電線共同溝（新城地区電線共同溝）

補正予算事業費
70百万円

継続	青森県青森市	道路	直轄

国道7号新城地区電線共同溝は、東北新幹線新青森駅開業によって、新たに青森県の観光の玄関口となった新青森駅に隣接しており、良好な景観の形成や観光振興、防災性向上の観点から、区画整理事業の進捗とあわせて効率的に電線共同溝の整備を図るものです。







▲国道7号の林立する電柱及び、
道路を横断する電線の状況

電線共同溝の整備により、防災性が向上するとともに良好な景観の形成が図られ、青森圏域の観光振興の支援が図られます。